

平成30年度第1回 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議 会議録

1 日時 平成30年8月30日（木） 14:30～16:00

2 場所 鎌ヶ谷市役所本庁舎6階 第1・第2委員会室

3 出席委員

山本幸子委員、江津和也委員、堀井徹委員、加郷由里子委員、今市由美子委員、松村幸江委員、渡部郷勝委員、高橋良子委員、皆川清子委員、石崎美代子委員、石橋章子委員、高畑絵美委員、野本里奈委員

4 事務局

菅井健康福祉部参事（健康増進課長）、林こども支援課長、大伯幼児保育課長、今井こども支援課長補佐、高橋こども総合相談室長、宗川子育て支援センター所長、佐藤こども発達センター所長、本間健康増進課主幹、宇賀南初富保育園長、荒川幼児保育課長補佐、木村こども支援課副主幹、松沼幼児保育支援係長、工藤主事（こども支援課）

5 記録 工藤

6 傍聴者 0人

7 議題

- (1) 平成29年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
- (2) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について【諮問事項】

8 配布資料

次第

諮問書

配布資料一覧

資料1 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議委員名簿

資料2 平成29年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況

【幼児期における教育・保育（子どものための教育・保育給付）】

- 資料3 平成29年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況
【地域子ども・子育て支援事業（子ども・子育て支援法第59条の規定に基づく13事業）】
- 資料4 平成29年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況
【その他関連施策について】
- 資料5 特定教育・保育施設の利用定員の設定について
- －1 施設案内図
 - －2 平面図
 - －3 位置図
- 参考資料1 鎌ヶ谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 参考資料2 子ども・子育て支援法（抜粋）
- 参考資料3 鎌ヶ谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

9 会議内容

《議題》

（1）平成29年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

1. 「幼児期における教育・保育」の進捗状況

- 1 事務局が資料2に基づき説明
- 2 質疑応答

委員 平成30年度10月開園予定の保育所についてはどちらの地域に出来るのか。

事務局 平成30年度開設予定の認可保育所につきましては、県道船橋・我孫子線沿いの、東道野辺1丁目に開設予定となっております。

委員 実績値において、保育の需要量に対し確保策が足りていないものとなっているが、平成29年度の待機児童については0と伺っている。どういう理由によるものか。

事務局 平成29年4月1日時点で、国の定める基準による待機児童数は0となっておりますが、年度途中において、保育を希望される方については一部待機が発生している状況でございます。

これについて、平成30年3月開園の保育所および30年4月開園の小規模保育事業による定員増によりまして、平成30年4月1日時点の待機児童数については0となっておりますが、年度内においても、保育を必要

とするすべての児童が利用できるよう努めてまいります。

委員 先日、市のホームページで確認したところ、小規模保育事業については、利用率が40%から60%程度となっており、そういった状況において今年度も新たな小規模保育事業所を整備することに疑問を感じる。

事務局 ホームページ掲載の利用率については古い数字になっているものと思われ、最新の利用率については各施設概ね80%程度となっております。各施設、開所後すぐは利用率が低調となりますが、時間の経過につれ利用率は向上しており、今後の開園予定の事業所につきましても同様に利用需要があるものと見込んでいるところでございます。

2. 「地域子ども・子育て支援事業」の進捗状況

1 事務局が資料3に基づき、事業ごとに説明

2 質疑応答

・事業① 利用者支援事業について

委員 子育て情報の発信については、具体的にどのような取り組みを行っているのか伺いたい。

事務局 市の子育て応援ホームページ内に、子育て支援コーディネーターのブログを設けて、逐次情報発信を行っているほか、各児童センターに出張を行い、例えば乳幼児の保護者が集まり情報交換などを行う「つどいの広場」事業などに一緒に参加して、直接情報発信を行っています。

また、例年8月に行っております子育て応援イベント「NICO-kama fes」においても、コーディネーターのコーナーを設けるなど、機をとらえて情報発信を行っています。

委員 ブログについては、認知度や更新頻度があまり高くないように思われ、内容も平日開催の専業主婦向けのイベントが多いように感じる。子育て応援アプリなどもあると伺ったので、そういったものも活用しながら、より積極的な情報発信を行っていただきたい。

委員 子育てサークルの育成については、サークルの発足後、市はどのように関わっていくのか。例えば、サークルの情報発信をブログ等で行っていたけるとよいのではないか。

事務局 サークル育成につきましては、本市のコーディネーターは子育てサークルの活動経験が豊富で、サークルを立ち上げたいといった相談に対して、経験を生かした助言を行ったり、最初の数回に実際に参加して助言を行うなどの支援を行っておるものです。

サークルの周知につきましては、希望されるサークルには、コーディネーターが活動を取材させていただくなどにより、情報発信をしていければと考えております。

・事業② 延長保育事業について

委員 課題としている保育士の確保については、全国的な問題となっており、各市が独自の処遇改善を行うといった状況となっているが、鎌ヶ谷市では確保についてはどういった対応を行っているか伺いたい。

事務局 保育士の処遇改善といたしまして、昨年10月に県の交付金を活用し、給与面で3万円の上乗せを実施しました。確保の現状といたしましては、時間内の部分については保育士の確保ができておりますが、時間外の部分についての保育士の確保が課題となっております。

・事業⑤ 乳児家庭全戸訪問事業について

委員 課題として、保健推進員が不安なく活動できるよう、との記述があるが、自分が訪問を受けた際は推進員一人の訪問であったため、不安をなくすという意味では、保健師との二人一組での実施も検討されたらよいのではないかと。

事務局 専門的な対応が必要なケースを想定し、最初の段階から保健師が訪問を行うことや二人一組での訪問という考え方もございますが、市といたしましては、実際に同じ地域に住んでおり自身も子育ての経験のある保健推進員の方に、より身近な存在として最初に訪問を行っていただき、必要なケースについては保健師等が引き継いでいくという形で、段階的に事業を行っているところでございます。

委員 障がいのある児童について、養育支援訪問事業や障がい福祉課の事業にはつなげられているのか伺う。

事務局 全戸訪問事業で障がいのあるお子様の情報をキャッチした際には、関係課に対して、訪問状況を記載したシートを添えて確実に情報共有を行うとともに、必要に応じて、訪問した者が個別事業の担当者との間に入り顔つなぎを行うなど、漏れなく確実に各種事業につないでいけるよう努めております。

・事業⑦ 地域子育て支援拠点事業について

委員 事業内容的には、どこの幼稚園でも類似の内容を実施しているものと思われるが、実績値には含まれないのか。

事務局 国の定める基準に基づいて実施している施設数のみを実績として計上しております。

委員 実績値への計上はともかく、それぞれの事業の周知について、ぜひ取り組んでいただきたい。また、その際には子育て応援アプリを利用して周知を行うことは可能か。

事務局 各事業の周知については、今回実績への計上の有無にかかわらず、子育て支援センターにて、ポスターの掲示やホームページにより情報発信を行っているところでございます。子育て応援アプリの活用につきましては、今後検討してまいります。

・事業⑧ 一時預かり事業について

委員 一時預かり事業について、自分も利用をしているが、公立保育園では利用について一週間前の申し込みが必要である。急病による利用の場合、一週間前の申し込みは不可能であるため、緊急時には当日でも利用できるよう改善を願いたい。

事務局 公立保育園については各園一日 10 名の定員を設けておりますが、申し込みについてキャンセル料が発生しないことから、事前申し込み分で定員が埋まってしまい、当日緊急の利用が難しい状況となっており、これについては改善を検討してまいります。

・事業⑨ 病児保育事業について

事務局 各年度、利用見込み人数に対して実際の利用人数が著しく少ない数値となっているが、こういった理由によるものか。

委員 病児保育事業につきましては、どの程度の方が病気になられるかは推計が難しいことから、受入可能人数を利用見込み人数として計上しているものでございます。

3. 「その他関連施策」の進捗状況

1 事務局が資料4に基づき説明

2 質疑応答

事務局 放課後等デイサービスについては、事業者によって内容が大きく異なり、

単に預かっているだけというような業者も見受けられる。今後の取組として研修会・勉強会により質の向上に取り組むとのことなので、ぜひ努めていただきたい。

委員 今後、質の向上に取り組んでまいります。

(2) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について【諮問事項】

1 事務局が資料5に基づき説明

2 質疑応答

委員 児童数は全国的に減少傾向にあり、鎌ヶ谷市も減少しているものと思われるが、今後の施設整備についてはどのように考えておられるのか。

事務局 鎌ヶ谷市も微減傾向ではありますが、利用推計に基づき施設の整備を行っているところであり、今後につきましては、現在の計画年度が31年度までであるため、次期計画の策定にあたりニーズ調査を行いまして、施設の利用推計を算出し、整備の方針を決定してまいります。

3 決議結果 承認（全員一致）

10 その他

事務局より、次回会議の開催予定について説明した。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

平成31年1月18日

氏 名 渡部 郷勝 _____

氏 名 高橋 良子 _____